

【3】身分証のコピーは、運転免許証にしようかとも思ったが、せっかく作ったのでマイナンバーカードにした。

【4】住民票の写しは、日曜日の昼下がりにコンビニで試してみた。

マイナンバーカードで挑戦するのは、初めてなのでちょっと緊張した。マルチコピー機の画面の「行政サービス」⇒「証明書交付サービス」を選んで指示通りに、ゆっくりやれば無事にできた。普段コピーを取るくらいの難易度だった。

平日昼間に市役所まで行かなくても良いのは助かる。マイナンバーカードを取得して以来、初めてご利益を実感した。

【5】全部そろったので、自宅にあったA4サイズの封筒に入れようと思ったが、普通郵便でいいのか書留なのか、切手代も中身の重さで変わるので、郵便局に行かないとダメかなと悩んだ。

結局レターパックライト（青いほう 370円）にした。宛先は「郵送前申請書類チェックリスト」の右下に用意されていたのを切り取って糊付けした。

最後にレターパックライトの保管用シールをはがしてから、通勤途中にローソンのポストに投函した。保管用シールのQRコードを使って、無事に届いたことが確認できたので、後は発行完了通知ハガキが来るのを待つだけである。

ところで、マイナポイントは手続きしたが、実感が乏しい。市役所で帰りにプレミアム商品券とかの現物で渡してもらえると、ありがたさが実感できるし、そのまま市内の店で、気持ちよく使って地元還元できるのと思った。

## 閑話求題

大人の修学旅行  
山陽小野田 長谷川 朋美

聖徳太子が建立した世界最古の木造建築「法隆寺」、その入り口近くに静かな佇まいの宿がある。ここのホテルマンによる法隆寺の語り部ツアー（無料）が楽しい。「ご飯粒が仏舎利のようだから“しゃり”と呼ばれる・・・。」などミニ知識を交え、法隆寺の建築様式、釈迦三尊像、釈迦に関する説話、法隆寺の修築にあたった宮大工棟梁のことなど話は澁みなく続く。客は彼の法隆寺愛と豊富な知識に当てられ、終いには法隆寺に魅了されてしまう。ツアーは西院伽藍だけのため国宝百済観音像の案内は含まれないが、百済観音像の圧倒される美しいお顔、立ち姿に、言葉は必要ないと思われる。

彼はレセプションから食事の配膳もしなくてはならず、勤務時間の8時間、ずっと喋り倒すのが夢らしい。後日、某テレビ番組でも「大人の修学旅行」というテーマでこの門前宿と語り部ツアーを取り上げており、彼の夢のためにも是非お勧めしたい。